

令和6年度7月全校集会校長講話

令和6年7月22日（月）

おはようございます。校長の鴨志田新一です。

毎日、暑い日が続いております。皆さんの体調管理はできていますか。

はじめに、この7月に、四国や中国地方など国内各地で豪雨災害により、河川の氾濫や土砂崩れ等による被害が、多数発生しました。皆さんや先生方の中にも、ご親戚やご友人などが、その地域にお住まいであり、被害に遭われたという方もいるかもしれません。

被害に遭われた方々に、この場をお借りしてお見舞いを申し上げます。

さて、本校は、2学期制ですので、1学期が終わるというわけではなりませんが、明日から41日間の夏休みに入ります。

今年は、7月26日、日本時間では27日の朝になりますが、フランスのパリでオリンピックの開会式が行われます。

また、8月28日、日本時間では29日の早朝になりますが、同じくパリでパラリンピックの開会式が行われます。

時差があるので、すべてを現地からの生中継は難しいかもしれませんが、できるだけ、早起きをして、観戦したいと思っています。

最近のオリンピックやパラリンピックでは、日本の若い選手の活躍が目覚ましいです。

昔から、体重で区切られている競技種目、柔道やレスリング、ボクシングなどでは、日本選手もメダルを獲得する選手がたくさんいました。

しかしながら、体格や技術では、欧米やアフリカの海外の選手にはかなわず、陸上や水泳、バスケットボールやバレーボールのようなボールゲームなどは苦戦してきました。

今回の大会では、そのような種目でも、メダル候補をいわれている選手や種目があります。海外の選手との体格や技術の差がなくなってきたような気がします。

メジャーリーグの大谷翔平選手を見てもわかりますが、科学的なトレーニングやメンタル面でも、日本選手も活躍できることが証明されています。

重ね重ね、日本選手団の活躍を期待しています。

スポーツにはルールというものがあります。ルールを破ること、すなわち反則をすると、それなりのペナルティを受けます。

例えば、陸上競技の短距離走で、フライングをすると失格になります。

バスケットボールで、相手にぶつかったりするとフリースローを取られます。

サッカーで過度で危険な行為をすれば、レッドカードやイエローカードが出され、退場処分になることもあります。

このように反則は、反則する側のプレーに問題があるものです。

その中でも、サッカーにオフサイドというルールがあります。

攻めている側の選手が、守っている側の選手より前で、ボールを待っていたり、受けたりするとオフサイドという反則になります。

ところが「オフサイドトラップ」というものがあります。最初は守っている相手の選手よりも後ろにいたのに、守っている選手が一斉に意図的にラインを上げる、いつの間にか相手の選手よりも前に出てしまい、オフサイドという反則になります。

トラップは「わな」という意味です。文字通り、相手をわなにかけて反則を生むものです。

ほとんどの反則は、自分が何かしでかして反則になるのに、オフサイドは自分が何もしていないのに反則を取られます。

何もしていないというか、周りがわなをしかける状況に気づいていなかったともいえます。

この現象は、現代社会を象徴しているともいえます。

交通ルールをきちんと守っているのに、事故に巻き込まれることがあります。

自分は何もしていないのに、いつの間にか、ネットで炎上し、中傷されることがあります。

知らない間に、個人情報流出していて、多額の架空請求を受けることがあります。

SNS上での投資話にのってしまい、多額のお金が奪われることがあります。

何かおかしいな、変だなと思ったら、一歩立ち止まり、周りをよく見てください。避けられるものもあるはずです。

そして、トラブルに巻き込まれそうになったら、誰かに相談し、場合によっては警察にも相談して、決して一人で解決しようとしなないことです。

私たちは、こうした社会に生きていることを強く意識して、夏休みを過ごしてください。

最後に「凡事徹底」について、お話します。当たり前のことを当たり前にすること、私は、このことを「凡事徹底」と呼んでいます。

人間としての、生きる上でのマナー、礼儀、服装、あいさつ、これらのことを自然に行うことで、何事にも耐えることができる人間、志が高く、品格のある人間になることができます。

しかし、最初から自然に行うことはできません。最初は、意識して、徹底することで、自然となってきます。

そして、品格のある人間になることができます。

それでは、9月1日に学校が再開したとき、皆さんが元気で会えるように事故や怪我のないよう、自ら気を付けてください。

私からは以上です。

